

愛医総総第 348 号
令和 6 年 1 月 9 日

介護施設等施設長 各位

愛知医科大学災害医療研究センター
センター長 津田 雅庸

令和5年度厚生労働省老人保健健康増進等事業に係る海拔ゼロメートル
地帯高齢者介護施設災害対策実態調査への協力について(ご依頼)

新春の候 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

愛知医科大学災害医療研究センターでは、令和4年度から厚生労働省の老人保健健康増進等事業として管轄市町村の協力を得た海拔ゼロメートル地帯の高齢者介護施設被災対策を行ってきたところですが、調査結果から別添 1 のとおり浸水被害は広域で、被害施設は多くも支援機関のアクセス困難となることから被災後の被害状況の把握、人・物の支援が滞る可能性があると判明しました。

その対策としては別添2のとおり平時の施設情報集約と事前リスク評価及び災害時の情報共有による効率的・効果的な対応が必要と考え、今年度につきましては施設情報を把握したいと思料しております。

つきましては、本事業の趣旨にご理解賜り、下記のとおり実態把握のための調査にご協力賜りますようご依頼申し上げます。

記

- 1 調査名称 海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設災害対策実態調査
- 2 対象地域 津島市, 愛西市, 弥富市, あま市, 大治町, 蟹江町, 飛島村, 名古屋市(中川区・港区)
- 3 対象施設 対象地域に属する愛知県介護サービス公表システム登録施設
- 4 調査項目 別紙「アンケート項目入力要領」参照
※ 愛知県介護サービス情報公表システム関連項目は令和6年1月9日現在の入力内容を活用
- 5 回答期限 令和6年 1 月24日(水)
- 6 回答方法 URL 又は QR コードから, 専用回答フォームにて回答願います。

アンケート調査回答フォーム

URL <https://business.form-mailer.jp/fms/e0316f46222810>

QR コード



(問い合わせ先)

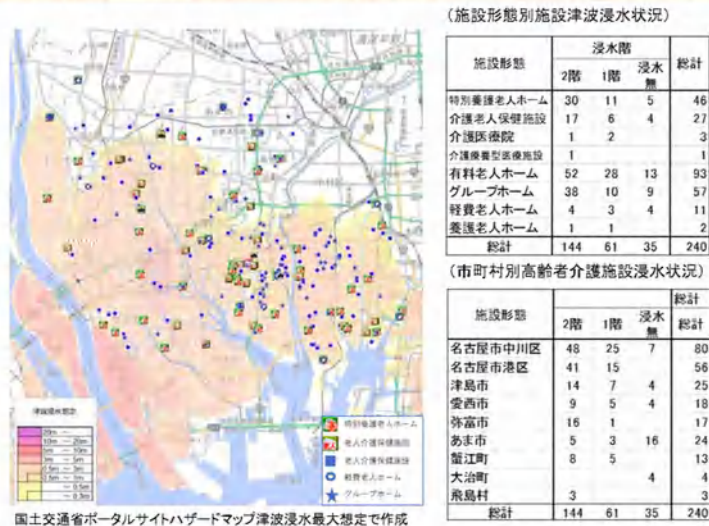
愛知医科大学災害医療研究センター 小澤、柴田、岡田、杉下
電話 0561-76-3029、E-mail; disaster@aichi-med-u.ac.jp

海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設を災害から守るには ～南海トラフ巨大地震大型台風がくれば～ どうなる海拔ゼロメートル地帯

海拔ゼロメートル地帯の高齢者介護施設は。令和4年度厚労省補助事業で行った調査結果では高潮によりすべての施設が浸水被害を受け、津波により85%以上の施設が浸水被害を受け、排水するまで長く時間がかかり、孤立状態が続くことが予測されます。

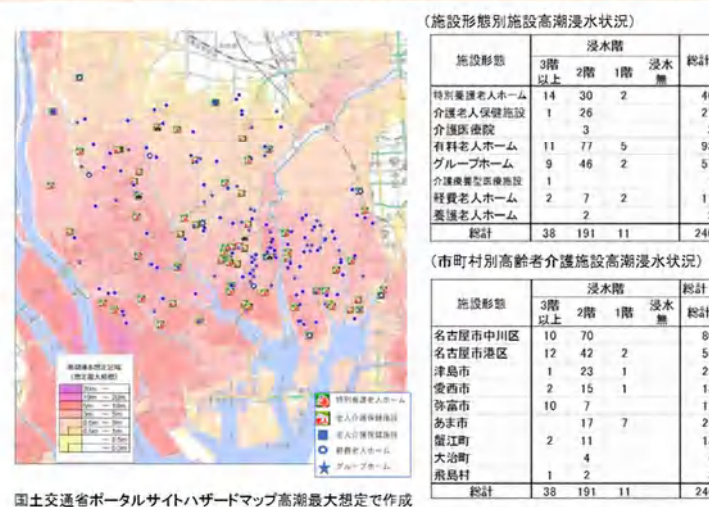
生活に必要な電気・水などのライフライン、道路は使えなくなり、遮断、道路寸断され、長期浸水孤立地域への支援は遅れ、職員・利用者の健康状態に大きく影響します。

海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設ハザードマップ(津波編)



南海トラフ地震津波浸水想定では85%以上の施設が浸水し、60%以上が2階まで浸水

海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設ハザードマップ(高潮編)



高潮最大浸水では240施設すべて浸水し、95%以上の施設は2階以上浸水

～避難か・籠城か～

どうする海拔ゼロメートル地帯

海拔ゼロメートル地帯での浸水被害は広域で被害施設は多く、支援機関のアクセスは困難であることから被災後の被害状況の把握、人・物の支援が滞る可能性があります。そのため、平時から市町村が各施設の災害対応状況を把握して有事の際の対応を準備し、避難・物品支給する籠城支援を順追って行っていく必要があります。

